

『浦上俊司の研修コンテンツ』（リーダーシップ編）

対象

- あらゆるビジネスでのリーダー的存在の方。又はその候補生。

特徴

- 講義によるインプットとグループディスカッションによるアウトプットで受講生同士のコミュニケーションが活発になり、一体感の中で楽しく学んで頂きます。（対面リアルでもオンラインでも実施可能）
- 講義は難解な理論理屈ではなく、講師の体験談が中心です。（他業種のビジネスマンの体験談は刺激になるはずです）
- 講師が様々な上司に仕えた結果、たどり着いた効果的なリーダーシップについて受講生と共有します。
- 生きたリーダーシップ事例を具体的に学び、今後の後輩や今現在の部下への接し方を再認識できます。
- 複数回に分けて実施する場合、宿題設定（現場で部下に働きかける行動目標を自ら設定し次回で成果発表）します。成果発表は、部下にどんな変化が見られたか？自分自身の内面の変化はあったか？といった項目で振り返ります。

カリキュラム（一日研修から半日研修、90分講演までカスタマイズ可能）

- 一般的なリーダーの4タイプ（有言実行、不言実行、有言不実行、不言不実行）
- 部下をその気にさせる11か条
 - ◎1か条「部下を‘その気’にさせるには7:3の法則がある」
 - ◎2か条「効果的な誉め方と叱り方、間接承認を使ってみる」
 - ◎3か条「一方的に喋るリーダーは部下に嫌われる」
 - ◎4か条「日頃から積み上げた信頼が心理的距離を埋める」
 - ◎5か条「部下が気づいていない可能性を示唆する」
 - ◎6か条「部下に視線を合わせて共感する」
 - ◎7か条「部下は自分を写す鏡そのもの」
 - ◎8か条「部下への頼み事、工夫すべきポイント3つ」
 - ◎9か条「報連相から雑相の時代へ、フレンドリーな空気作り」
 - ◎10か条「愚痴はタブー、自らの値打ちを下げる」
 - ◎11か条「上司から師匠へ、師匠からスターへ」
- ◎決意表明